



平戸

平成30年4月27日
横浜市立平戸小学校
〒244-0803
横浜市戸塚区平戸町542番地
TEL 045-821-2329

「どうして？」のもつ力

校長 菅原 久忠

「副校長先生～!」「どうしたの! (もしや、誰かが……)」「見て。すごいよ!虹だよ!!!」

以前、勤務していた学校での、ある日の午前中に起きたことでした。校庭で体育の学習をしていた子どもたちが、空の虹に気づき、その様子を職員室に伝えに来ました。子どもたちと一緒に校庭の真上を見上げると、そこには左右にのびる虹と太陽の周りにできた「輪」が同時に見えました。その虹色に輝く様子が、あまりにもきれいで珍しかったので、授業中ではありましたが、この一瞬がチャンスとばかり校内放送で全校児童に伝えました。「すご～い!」という声が聞こえてきました。

校庭にいた子どもたちの中から「どうしてできたのかな?」とつぶやいている声が聞こえてきました。私は、そのつぶやきに刺激されて、帰宅してから調べてみました。虹色は、「環水平アーク」、太陽の周りの「輪」は、「日暈 (ひがさ)」と呼ばれる現象とのこと。1年に数回ほどしか観測されない珍しい現象でした。

子どもたちのつぶやきに刺激されて調べたわけですが、久しぶりに調べることにワクワクしてしまいました。

「どうして?」といえば、小学校時代の出来事で今でも覚えていることがあります。

算数の授業で「かけ算九九」を教わりました。担任は (私がその後30年慕い続けた恩師ですが)、その日に学習した九九が間違えずに言えるまで下校させてもらえなかったと記憶しているくらい厳しかったのを覚えています。友達も、どんどん合格して帰宅していくのに、私は、なかなか暗唱できずにいたので、やっとの思いで合格したときには、担任の先生が私を両腕で持ち上げ、「たかいたかい」をして一緒に喜んでくれました。勉強が苦手だった私は、それだけでうれしくなっていました。

合格をもらったとはいえ、なんだか九九の暗唱がおぼつかない私は、「どうしてみんなは、間違えずに言えるのかな。」ということばかり気になっていました。「かけ算九九」の学習が終わりに近づいた頃、担任の先生が模造紙いっぱい作った「九九表」を張り出しました。「どうしてかな?」と担任の先生手作りの「九九表」ばかりながめていた私は、表の中の数の並び方がおもしろいと思いました。今思うと、それは、すでに授業で教わっていたことが、そのときにやっとわかったということなのですが、間違いなくそのときの楽しさやうれしさが、今でも心に残っています。

さて、今、学校では、たとえば、子どもたちが自分からかけ算のきまりを見つけて (子どもたちが、あたかも自分で見つけたかのように指導者がしかけて)、九九を創り出していく過程を大切に授業づくりに取り組んでいます。子供たちは、「どうして?」をきっかけに、たくさんのきまりを見つけていきます。その上で、九九の暗唱に取り組んだとしたら、その意味も納得し、いたずらに暗唱に多くの時間を費やさなくてもよいかもしれません。

子どもたちは、疑問に思ったら、そのことにとことんこだわり追究し、その過程で様々なことに気づき考えます。昨年に引き続き、今年度も子どもたちの「どうして?」のもつ力を引き出していけるよう、授業づくりに取り組んでいきます。

